



2023年3月期第3四半期 決算報告会

 丸一鋼管株式会社

常務執行役員 河村康生

2023年2月

- I . 2023年3月期 第3四半期 決算概要
- II . 足元の事業環境認識
- III . 主要連結子会社の状況
- IV . 2023年3月期 業績予想

I . 2023年3月期 第3四半期 決算概要

<ポイント>

- 販売数量面では、日本は前年比マイナス、北米は微増、アジアはSUNSCOのマイナスが大きく、全体では新規連結2社(MNT社・MPST社)を加えても前年同期比▲3%。
- 売上高は、各地域セグメントでの製品値上げ効果から、増収を確保。
- 営業利益は、北米は前年同期に製品価格値上げ先行によるスプレッド改善があった半面、今期は販売価格下落でスプレッドダウン。アジアはSUNSCO社の在庫評価損の影響などで減益。日本は増益となったが、全体では減益となる。
- 経常利益及び当期純利益は、単体の配当金増及び持分法投資利益増で減益幅が縮小された。

【単位：百万円】

	2022年3月期実績					2023年3月期実績					前期比	前期比 (%)
	1Q	2Q	3Q	3Q累計 (a)	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計 (b)	通期計画	3Q累計 (b-a)	3Q累計 [(b-a)/a]
売上高	45,612	53,939	61,201	160,752	224,218	65,541	72,858	69,536	207,935	274,100	47,183	29.4%
営業利益	7,735	9,564	10,958	28,257	36,276	8,789	9,623	5,757	24,169	31,400	▲4,088	▲14.5%
経常利益	8,651	9,986	11,667	30,304	38,458	9,777	11,097	7,400	28,274	34,600	▲2,030	▲6.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,089	7,364	8,322	21,775	27,760	6,453	7,493	5,457	19,403	21,900	▲2,372	▲10.9%

2023年3月期第3四半期決算 ― セグメント別実績と計画

01 × 100

【売上高】	2022年3月期実績 (百万円)					2023年3月期 (百万円)					3Q累計前期比	
	1Q	2Q	3Q	累計(a)	通期	1Q	2Q	3Q	累計(b)	通期計画	(b-a)	[(b-a)/a]
日本	28,738	31,432	37,622	97,792	136,106	38,529	39,994	43,083	121,606	162,682	23,814	24.4%
北米	9,138	12,385	13,855	35,378	48,699	16,032	20,111	15,709	51,852	64,801	16,473	46.6%
アジア	7,735	10,122	9,723	27,580	39,412	10,978	12,755	10,744	34,477	46,617	6,896	25.0%
調整額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	45,612	53,939	61,201	160,752	224,218	65,541	72,858	69,536	207,935	274,100	47,183	29.4%

【営業利益】	2022年3月期実績 (百万円)					2023年3月期 (百万円)					3Q累計前期比	
	1Q	2Q	3Q	累計(a)	通期	1Q	2Q	3Q	累計(b)	通期計画	(b-a)	[(b-a)/a]
日本	4,653	4,901	6,663	16,217	21,500	6,971	6,768	7,343	21,082	26,638	4,865	30.0%
北米	2,244	3,344	3,428	9,016	11,228	778	2,061	▲562	2,277	3,017	▲6,739	▲74.7%
アジア	775	1,250	790	2,815	3,246	935	686	▲1,081	540	1,497	▲2,275	▲80.8%
調整額	62	68	78	208	300	104	106	58	268	248	60	28.8%
合計	7,735	9,564	10,958	28,257	36,276	8,789	9,623	5,757	24,169	31,400	▲4,088	▲14.5%

2023年3月期第3四半期決算 一 個別各社の実績 (四半期ベース①) O1×100

【単位：億円】

	売上高							営業利益						
	22/3期				23/3期			22/3期				23/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
丸一鋼管	226.8	249.0	304.7	308.3	312.1	306.7	327.5	41.3	34.9	49.0	43.8	54.6	51.6	46.8
丸一ステンレス	48.8	61.1	67.6	67.0	61.1	77.8	85.3	3.4	8.9	12.2	6.7	11.2	11.2	18.9
アルファメタル	9.6	9.3	7.8	10.4	9.3	15.4	14.8	▲0.2	▲0.2	▲0.6	▲0.2	▲0.1	0.8	0.6
その他国内子会社	129.3	139.4	166.8	165.1	179.3	173.5	188.1	1.3	5.2	7.4	1.9	3.7	4.9	6.2
MKK USA INC.	43.3	63.1	64.8	58.1	75.4	94.3	72.5	11.1	19.6	19.4	11.1	7.1	10.0	▲2.3
MNT	-	-	-	5.1	13.9	13.0	12.8	-	-	-	▲0.1	▲3.3	▲0.5	▲4.2
MAC	24.3	34.6	40.9	37.7	39.0	55.5	43.7	5.4	8.2	8.1	6.2	2.0	7.2	2.5
MOST	17.0	20.2	24.7	24.0	23.4	29.2	19.0	4.9	4.8	4.8	2.4	▲0.2	1.9	▲2.9
MMX	7.2	6.7	8.7	9.1	9.5	10.3	10.4	1.5	1.3	2.3	3.0	2.7	2.4	1.8
SUNSCO(含Hanoi)	65.7	84.7	79.6	99.0	85.6	98.3	80.8	6.4	10.8	6.6	2.2	7.0	3.4	▲13.7
KUMA	13.9	18.8	19.5	21.8	25.4	30.5	26.7	1.3	1.7	1.2	2.1	2.5	3.4	2.7
MPST	-	-	-	-	1.5	1.7	2.7	-	-	-	-	▲0.1	▲0.0	0.2
持分法適用関連会社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
のれん代	-	-	-	-	-	-	-	0	0	▲7.9	▲2.6	▲0.0	▲0.1	▲0.0
連結調整	▲129.8	▲147.4	▲173.1	▲170.8	▲180.1	▲177.7	▲188.9	1.1	0.4	▲1.0	1.1	0.8	▲0.0	1.0
合計	456.1	539.4	612.0	634.7	655.4	728.5	695.4	77.3	95.6	109.6	80.2	87.9	96.2	57.6

2023年3月期第3四半期決算 一 個別各社の実績 (四半期ベース②) O1×100

【単位：億円】

	経常利益							親会社株主に帰属する当期純利益						
	22/3期				23/3期			22/3期				23/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
丸一鋼管	57.5	41.2	55.7	56.7	73.6	67.7	53.6	40.9	29.8	39.8	42.8	52.8	48.8	38.5
丸ステンレス	3.4	9.0	12.3	6.6	11.3	11.2	19.0	2.0	6.1	8.4	5.0	7.3	7.4	12.9
アルファメタル	0.0	▲0.0	▲0.3	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0	0.0	▲0.2	▲2.9	0.0	0.7	0.5
その他国内子会社	4.4	5.5	7.7	2.2	7.9	5.2	6.4	3.6	3.3	5.1	1.6	5.6	3.6	4.3
MKK USA INC.	11.0	19.9	19.4	11.1	6.9	9.9	▲1.9	9.9	17.6	14.4	16.1	5.8	5.6	0.7
MNT	-	-	-	▲0.1	▲3.3	▲0.5	▲4.2	-	-	-	▲0.1	▲3.3	▲0.5	▲4.2
MAC	5.4	8.6	8.1	6.2	2.0	7.4	3.3	3.9	6.3	5.8	4.4	1.5	5.3	2.5
MOST	4.9	4.8	4.8	2.3	▲0.2	1.9	▲2.9	4.9	4.8	4.8	2.3	▲0.2	1.9	▲2.9
MMX	1.5	1.5	2.2	1.4	2.8	2.3	1.8	1.1	1.2	1.9	0.1	2.3	1.4	1.0
SUNSCO(含Hanoi)	7.8	11.8	6.2	2.3	9.7	4.5	▲13.5	7.6	11.8	6.1	2.3	9.5	4.6	▲13.5
KUMA	1.3	2.0	1.2	2.1	2.1	3.0	2.6	1.1	1.4	0.8	1.5	1.6	2.1	2.1
MPST	-	-	-	-	▲0.2	▲0.0	0.1	-	-	-	-	▲0.2	▲0.0	0.1
持分法適用関連会社	0.8	0.9	1.5	0.7	1.2	0.9	10.1	-	-	-	-	-	-	-
のれん代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結調整	▲11.4	▲5.4	▲2.1	▲10.0	▲16.0	▲3.7	▲1.1	▲14.0	▲8.7	▲3.7	▲13.2	▲18.2	▲6.0	12.6
合計	86.5	99.9	116.7	81.5	97.8	110.9	74.0	60.9	73.6	83.2	59.8	64.5	74.9	54.6

2023年3月期第3四半期決算 一 個別各社の実績 (累計ベース①)

O1×100

【単位：億円】

	売上高						営業利益					
	22/3期		23/3期				22/3期		23/3期			
	上期	第3Q 累計	上期	前期比	第3Q累計	前期比	上期	前期比	第3Q累計	前期比		
丸一鋼管	475.8	780.5	618.8	143.0	946.3	165.8	76.1	125.2	106.1	30.0	153.0	27.8
丸ステンレス	109.9	177.5	138.9	29.0	224.1	46.6	12.3	24.5	22.4	10.1	41.3	16.8
アルファメタル	18.9	26.8	24.7	5.8	39.5	12.7	▲0.4	▲1.0	0.7	1.1	1.4	2.4
その他国内子会社	268.6	435.5	352.8	84.2	540.9	105.4	6.5	14.0	8.6	2.1	14.8	0.8
MKK USA INC.	106.4	171.2	169.7	63.3	242.2	71.0	30.6	50.0	17.1	▲13.5	14.8	▲35.2
MNT	—	—	26.9	26.9	39.8	39.8	—	—	▲3.8	▲3.8	▲8.1	▲8.1
MAC	58.9	99.8	94.5	35.6	138.2	38.4	13.5	21.6	9.2	▲4.3	11.8	▲9.8
MOST	37.3	61.9	52.6	15.3	71.6	9.7	9.7	14.5	1.7	▲8.0	▲1.2	▲15.7
MMX	13.9	22.5	19.8	5.9	30.2	7.7	2.9	5.2	5.1	2.2	6.8	1.6
SUNSCO(含Hanoi)	150.4	229.9	183.9	33.5	264.7	34.8	17.2	23.9	10.4	▲6.8	▲3.3	▲27.2
KUMA	32.7	52.2	55.9	23.2	82.6	30.4	3.0	4.3	5.9	2.9	8.5	4.2
MPST	—	—	3.2	3.2	5.9	5.9	—	—	▲0.1	▲0.1	0.1	0.1
持分法適用関連会社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
のれん代	—	—	—	—	—	—	0.0	▲0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.1	0.0
連結調整	▲277.2	▲450.3	▲357.8	▲80.5	▲546.6	▲96.3	1.5	0.5	0.8	▲0.7	1.9	1.4
合計	995.5	1,607.5	1,383.9	388.4	2,079.4	471.9	172.9	282.6	184.1	11.2	241.7	▲40.9

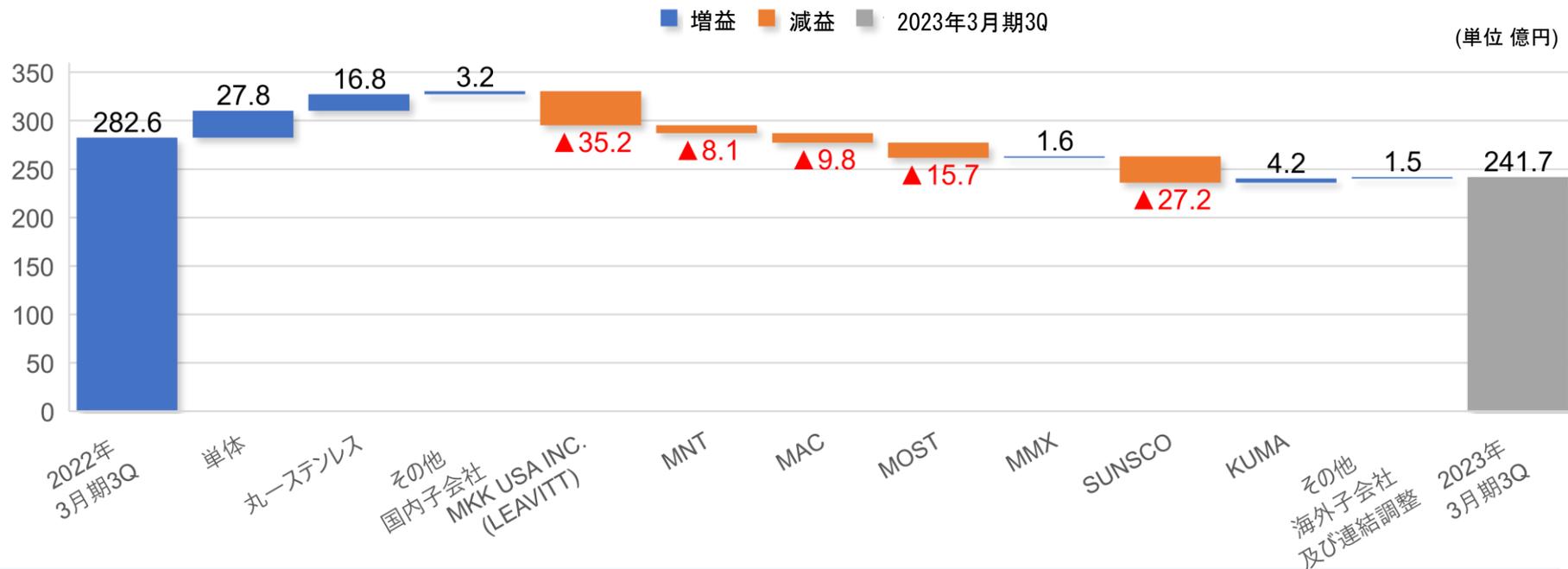
【単位：億円】

	経常利益						親会社株主に帰属する当期純利益					
	22/3期		23/3期				22/3期		23/3期			
	上期	第3Q 累計	上期	前期比	第3Q累計	前期比	上期	第3Q 累計	上期	前期比	第3Q累計	前期比
丸一鋼管	98.7	154.4	141.3	42.6	194.9	40.5	70.7	110.5	101.6	30.9	140.2	29.7
丸ーステンレス	12.4	24.7	22.5	10.1	41.4	16.7	8.1	16.5	14.7	6.6	27.5	11.0
アルファメタル	0.0	▲0.2	1.1	1.1	1.8	2.0	0.0	▲0.2	0.7	0.7	1.2	1.4
その他国内子会社	10.0	17.7	13.1	3.1	19.5	1.8	6.9	12.0	9.2	2.3	13.6	1.6
MKK USA INC.	30.9	50.3	16.8	▲14.1	14.9	▲35.4	27.5	42.0	11.4	▲16.1	12.1	▲29.9
MNT	—	—	▲3.8	▲3.8	▲8.1	▲8.1	—	—	▲3.8	▲3.8	▲8.1	▲8.1
MAC	13.9	22.0	9.4	▲4.5	12.7	▲9.3	10.2	15.9	6.8	▲3.4	9.3	▲6.6
MOST	9.7	14.5	1.7	▲8.0	▲1.2	▲15.7	9.7	14.5	1.7	▲8.0	▲1.2	▲15.7
MMX	3.0	5.2	5.1	2.1	6.9	1.7	2.3	4.2	3.7	1.4	4.7	0.5
SUNSCO(含Hanoi)	19.6	25.7	14.2	▲5.4	0.7	▲25.0	19.4	25.5	14.1	▲5.3	0.5	▲25.0
KUMA	3.3	4.5	5.1	1.8	7.7	3.2	2.5	3.3	3.7	1.2	5.8	2.5
MPST	—	—	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.1	—	—	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.1
持分法適用関連会社	1.7	3.2	2.1	0.4	12.3	9.1	—	—	—	—	—	—
のれん代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
連結調整	▲16.8	▲19.0	▲19.7	▲2.8	▲20.7	▲1.7	▲22.8	▲26.5	▲24.2	▲1.4	▲11.5	15.0
合計	186.3	303.0	208.7	22.4	282.7	▲20.3	134.5	217.7	139.4	4.9	194.0	▲23.7

営業利益の増減要因（22年3月期3Q実績→23年3月期3Q実績）

<ポイント>

- 単体は前期値上げが遅れていたユーザー向け追加値上げ及び、農業用GHパイプ、電線管等の値上げを実施。今期のコイル価格値上がり分の製品への転嫁も予定通り実施。輸入コイル価格の下落効果もあり増益。
- 丸ステンレスは、BA管が引き続き好調。月間生産20万本体制も軌道に乗り、販売価格の改善及びコストダウンもあって増益。
- 米国の前期は製品価格上昇局面でスプレッドが拡大した時期。今期は市況の下落が続く大幅減益。
- SUNSCOホーチミンは、国内需要の低迷や中国経済の回復遅れで市況の下落が続く、在庫評価損発生もあって減益。
- MMX、KUMAは部品不足などの影響はあるが、前期よりは状況改善し増益。



単体営業利益の増減要因（22年3月期3Q実績→23年3月期3Q実績） O1×10

<ポイント>

- 自動車向け出荷は累計でほぼ前年以上に回復したが、本格レベルには未到達。中小建築案件の需要低迷が続き建築向け出荷が大幅減少。
- 総販売数量は538千トで、前年同期実績対比▲2.8%。
- 需要が低迷する中で価格の維持に努め、総販売単価は前年同期比+24.8%アップ。
- 売上原価は材料コイルの直接材料費、亜鉛等の補助材料費、電力費が30%前後、運送費が6%程度のコストアップ。
- 結果営業利益は、153.0億円と前年同期比+27.8億円(+22.2%)の増益。



単体及び海外の出荷数量の推移

<ポイント>

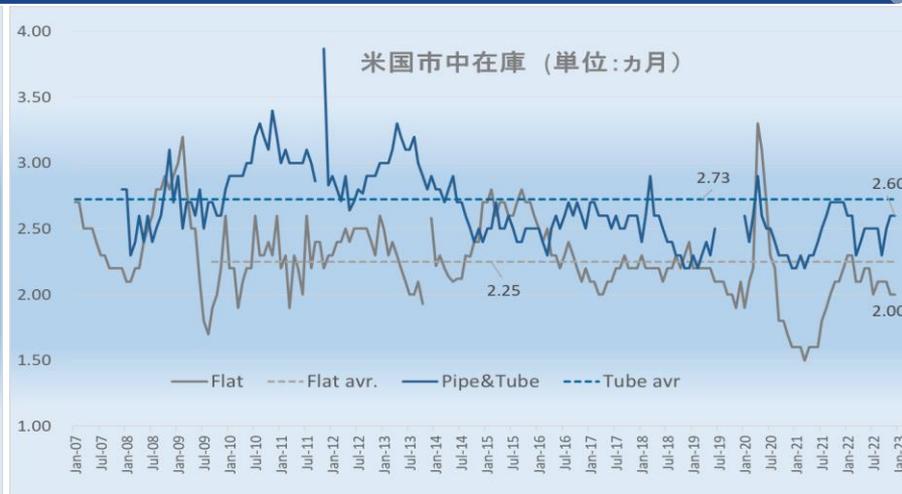
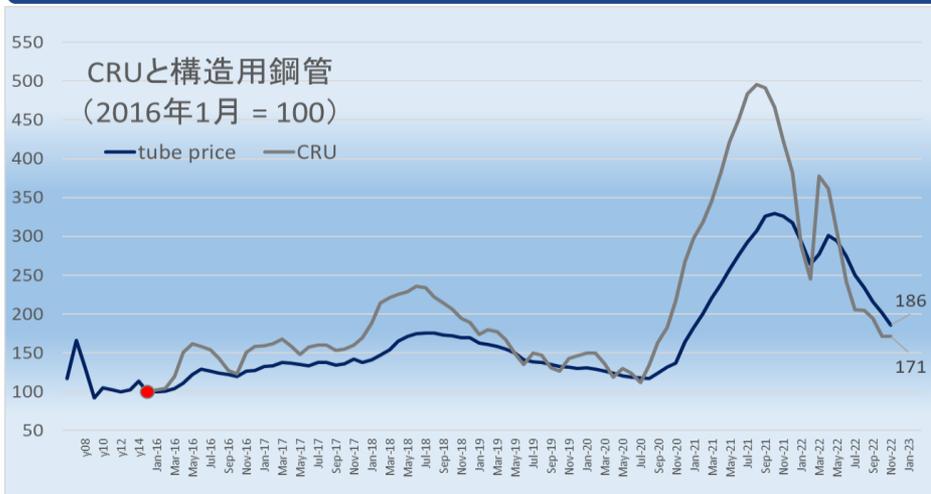
- 丸一鋼管の構造用鋼管は、前年の3Q累計比▲2.9%。中小建築案件の需要が低迷。
- 丸一鋼管の機械構造用は、国内の自動車生産が回復してきており、3Q累計は前年比▲1.1%と上期の▲3.4%から改善。
- 米国は市況の下落局面が続き、先安感から流通の当用買いが顕著で、昨年11月から連結したMNTを除く3社の3Q累計数量は前年比▲3.7%。
- MMXは日系自動車メーカーが中国からの部品及び半導体不足の影響や需要減で減産が継続。前年同期比▲11.0%。
- SUNSCOホーチミンは中国の安値オファー及び不動産不況と国内市況下落及び需要減で数量が大きく減少。Hanoiは8月から数量は回復。合算の前年同期比は▲16.1%。
- KUMAは4輪が好調で、コロナ前の水準を超えて15.1%増加。

【出荷数量】(千ト)

	四半期ベース							累計ベース				通期ベース
	22/3期				23/3期			22/3期		23/3期		22/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	上期	第3Q	上期	第3Q	
丸一鋼管 構造用	108.4	105.0	117.6	104.0	115.0	103.9	102.5	213.4	331.0	218.9	321.4	435.0
丸一鋼管 機械構造用	36.0	33.9	35.4	36.0	32.9	34.6	36.7	69.9	105.3	67.5	104.2	141.3
丸一鋼管 その他	40.3	37.1	40.6	44.2	40.5	33.9	38.7	77.4	118.0	74.4	113.1	162.2
米国(4社)	57.6	60.4	54.6	45.3	60.6	68.2	55.3	118.0	172.7	128.8	184.1	217.9
MMX	3.5	2.9	3.3	2.9	2.8	2.9	2.8	6.4	9.6	5.7	8.6	12.6
SUNSCO	64.8	69.6	53.0	63.2	54.6	56.2	46.4	134.4	187.4	110.8	157.3	250.6
KUMA	5.9	7.6	7.1	7.4	7.6	8.6	7.6	13.5	20.6	16.2	23.7	28.0
その他	3.4	3.8	4.1	3.9	4.2	4.5	4.6	7.2	11.3	8.7	13.3	15.3
合計	319.9	320.3	315.7	306.9	318.2	312.8	294.6	640.2	956.0	631.0	925.7	1,262.9

Ⅱ. 足元の事業環境認識

国内需要	鋼板類	<ul style="list-style-type: none"> 中国からの部品供給や半導体不足の影響が不透明ながら、受注残解消にむけて国内自動車生産メーカーの増産が期待できる。 鋼材価格の高止まりで建築向け需要が低迷しており、高炉が更なる値上げに動けば需要回復が更に遅れる懸念あり。 韓国・台湾ミルは、アジア市場より割高な日本向けコイル販売拡大の意図はあるものの、需要が細く数量が捌けないことから海外並みへの下げは期待薄。 足元建築・インフラの国内需要は弱い、今後の回復に期待。
	鋼管類	<ul style="list-style-type: none"> 建設需要は引き続き弱い、足元の自動車向けはコロナ前の水準に回復しつつある。 一部メーカーは、価格より数量優先の姿勢を続けている。 国内高炉の原材料プラス3万円/トンの値上げ圧力は強いままで、3万円/トンの当社製品値上げはアナウンス済だが、店売りの2万円/トンレベル達成の現状は変わっていない。当面製品価格維持に注力。
海外の状況	中国	<ul style="list-style-type: none"> ゼロコロナ政策の解除により、一方低迷している不動産市場へのてこ入れなど政府の経済刺激策の本格化が期待できる。 鋼材輸出価格の安値オファーも無くなって、アジア市況の回復及び安定にとって好材料。 極端な政策転換が起こっており、再びロックダウンなどの強硬措置の可能性あり。自動車部品供給状況は要注視。
	ベトナム/米国/他	<ul style="list-style-type: none"> 中国のゼロコロナ政策解除により、アジア市況回復の期待が高まる中、ベトナム市場の反応は比較的冷静であるものの、需要は徐々に正常化しつつある。約半年間断続的に続いたホットコイルの下げ相場も12月には唱えが上昇に転じ、足元約\$80/MT程度市況は回復している。今後不動産開発などの本格的な需要回復が望まれる。 米国ホットコイル市況は、22年年末から既に\$170/MTの値上げを発表し回復に向かっている。市況からの反応も大きな抵抗なくほぼ受け入れられている状況。構造用鋼管もこの値上げに追随する方向で動いており、これも市場は受け入れている。年明けのリ STOCKING 需要も手強い、足元の市場は正常化に向かっているものと思われる。
主要需要分野の活動状況	建設	<ul style="list-style-type: none"> 当社主力の中小建築物は弱い状態が続く。鉄鋼製品値上がりを背景に建設投資縮少の懸念有り。
	自動車/造船	<ul style="list-style-type: none"> 国内自動車の生産台数は回復しつつあり、コロナ前の水準に近付くと見込む。 世界的に環境規制を意識したEV・FCV化が加速しつつあり、対応検討開始。 造船はLNG次にアンモニア燃料船へと移行する兆しあり、将来の水素需要の拡大と併せステンレス鋼管需要が拡大すると見る。



- 米国の鋼管の値動きは、コイルに比べて緩慢。
- 一方、米国市中の在庫状況は、コイル、鋼管共に過去平均（それぞれ2.25ヶ月と2.73ヶ月）を下回った状態が続いている。
- 東南アジアはホットコイルと表面処理コイルのレベルは、ほぼ同じペースで推移。

Ⅲ. 主要連結子会社の状況

丸一鋼管株式会社

- 販売数量は前年比2%程度未達ながら、計画比はほぼトントン。売上は前年比28%程度増。利益面は在庫評価益もあり前年比66%、計画比15%程度増加。
- 浜松加工センター（自動車用）に最新鋭のRattunde社（ドイツ）製切断加工機を1.7億円で導入。10月より本格稼働を開始しており、能力に余力があり一層の需要取り込みを図る。

業績の推移

（単位：百万円）

	売上高	営業利益
2022年2月期実績	37,804	745
同上期実績	16,852	183
同3Q実績	10,665	437
同4Q実績	10,287	125
2023年2月期期初計画	47,504	433
2023年2月期修正計画	45,714	1,060
同上期実績	22,844	594
同3Q実績	12,433	435

丸一ステンレス鋼管株式会社

- 目標としていた月間20万本の生産体制はほぼ軌道に乗る。国内外SUS一般管は需要が軟化するも国内は値上げで利益は安定しており、半導体向けBA管分野が依然好調。
- 23年春以降の25万本/月体制へ設備増強中。24年1Q以降はテキサス工場稼働分も加え34万本/月体制増強に邁進。

業績の推移

（単位：百万円）

	売上高	営業利益
2022年3月期実績	24,447	3,118
同上期実績	10,989	1,225
同3Q実績	6,759	1,225
同4Q実績	6,699	667
2023年3月期期初計画	27,270	3,480
2023年3月期修正計画	30,478	4,578
同上期実績	13,884	2,237
同3Q実績	8,526	1,891

LEAVIT社・MNT社 (米国)

- 22年4月中旬より一貫して相場下げ局面となり、ピーク比\$701/ST(\$773/MT)も下落。原材料使用単価の下げペースよりも相場の下げが先行する局面に転ずる。
- LEAVITTは3Q前半まで進捗順調だが、後半から変化の局面。
- MNTは年初からの価格・量共に高いコイル在庫レベルで、後半の巻き返しを探る。
- 市場の更なる軟化に備え、在庫圧縮を急ぎ、スプレッドの圧縮対応に注力する。
- 第3Qで2社合計\$3.3Mの在庫評価損計上。

MAC社 (米国)

- ホットコイル市況が軟化しても鋼管市況の粘りからスプレッドを何とか維持してきたが、更なる相場下落の影響を受け、特にMOSTでは在庫圧縮に手間取る。
- 今後より一層在庫レベル適正化に注力する。
- 第3Qで2社合算\$1.9Mの在庫評価損発生。

MOST社 (米国)

業績の推移

(単位：百万US\$ 今期換算レート 期初計画:120円/\$、1Q実績:116.20円/\$、2Q実績:122.89円/\$ 3Q実績:128.05円/\$ 修正計画:131円/\$)

	売上高	営業利益
2021年12月期実績	199	56
同上期実績	94	28
同3Q実績	56	18
同4Q実績	53	10
2022年12月期期初計画	255	11
2022年12月期修正計画	256	6
同上期実績	152	11
同3Q実績	57	▲6

	売上高	営業利益
2021年12月期実績	125	25
同上期実績	54	13
同3Q実績	37	7
同4Q実績	33	5
2022年12月期期初計画	140	7
2022年12月期修正計画	134	10
同上期実績	76	8
同3Q実績	31	2

	売上高	営業利益
2021年12月期実績	76	15
同上期実績	33	8
同3Q実績	22	4
同4Q実績	21	2
2022年12月期期初計画	89	5
2022年12月期修正計画	68	1
同上期実績	41	+0
同3Q実績	13	▲2

MMX社 (メキシコ)

- サプライチェーンの混乱による影響は第3四半期中まで残ったが、今後ほぼ正常化する見込み。ただ、日系自動車メーカーの生産台数回復ペースは緩慢と見受けられる。
- 操業・出荷は一定レベルを確保しており、経営は安定。
- 大きな懸念事項無し。

SUNSCO社 (ベトナム)

- ベトナム国内の不動産需要が依然として低迷しており、建材需要回復の重しとなっている。中国市場の回復遅れも東南アジア市場全体に大きな影響を与えており、国内外での荷動きが低迷する中、在庫レベルも高止まりしており、適正レベルへの修正が急務。
- 一方、国内家電向け等の営業は着実に結果を出しているほか、後半取扱特約店もその数を毎月増やしている。
- 鋼管セグメントも安定的に推移し、全社採算に寄与するようになった。
- 市況下振れリスクに対応できる、筋肉質な体質作りが急務となっている。
- SUNSCOホーチミンの第3Qのみの在庫減損引当額は\$8.5M。
- 連結決算上の減価償却費減少分\$9.6M(年間ベース。第3Qまでは\$7.2M)は含んでいない。

KUMA社 (インド)

- 引き続き好調なインド景気の恩恵を受けて順調。
- コロナ後、四輪需要の回復は力強さを感じるが、二輪は需要が伸び悩んでいるように見える。
- 全体としては堅調に推移しており、経営環境も特に懸念事項は無し。

業績の推移 (単位: 百万US\$ 今期換算レート 期初計画:120円/\$、1Q実績:116.20円/\$、2Q実績:122.89円/\$ 3Q実績:128.05円/\$ 修正計画:131円/\$)

	売上高	営業利益
2021年12月期実績	29	6
同上期実績	13	3
同3Q実績	8	2
同4Q実績	8	1
2022年12月期期初計画	31	5
2022年12月期修正計画	30	6
同上期実績	16	4
同3Q実績	7	1

ベトナム基準	売上高	営業利益
2021年12月期実績	299	14
同上期実績	140	11
同3Q実績	72	3
同4Q実績	87	▲1
2022年12月期期初計画	361	15
2022年12月期修正計画	274	▲6
同上期実績	149	4
同3Q実績	57	▲13

	売上高	営業利益
2022年3月期実績	62	6
同上期実績	30	3
同3Q実績	17	1
同4Q実績	15	2
2022年12月期期初計画	66	6
2022年12月期修正計画	68	7
同上期実績	42	4
同3Q実績	19	2

IV. 2023年3月期 業績予想

<諸前提>

- 下期の販売数量面は、単体は需要回復が期待薄で、前年度同期比約▲4%、北米は新規連結MNTを除いて前年同期比ほぼ横ばい、アジアはベトナムSUNSCO社の低迷から前年同期比マイナスで、全社で前年同期比▲2%程度の見通し。
- 利益面では、日本は単体では下期は期初予想を下回るものの、年間では期初予想を上回る過去最高益の見通しで、丸ステンレス鋼管は上期・下期・年間共に期初予想を上回る見通し。
- 北米では、昨年買収したMNT社の大幅赤字が予想され、収益改善化を目指す。
- アジアは中国市況の影響を受け業績が低迷。
- 全社では、期初計画の見直しを行った。

【単位：百万円】

	2022年3月期実績			2023年3月期			前年同期比(%)			期初 予想	期初 予想比
	上期	下期	通期	上期実績	下期予想	通期予想	上期	下期	通期	通期	通期
売上高	99,551	124,667	224,218	138,399	135,701	274,100	39.0	8.9	22.2	279,200	▲5,100
営業利益	17,299	18,977	36,276	18,412	12,988	31,400	6.4	▲31.6	▲13.4	32,100	▲700
経常利益	18,638	19,821	38,458	20,874	13,726	34,600	12.0	▲30.8	▲10.0	34,900	▲300
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,454	14,307	27,760	13,946	7,954	21,900	3.7	▲44.4	▲21.1	22,600	▲700

配当方針

- 個別損益計算書におけるみなし当期利益(※)の50%相当を年間配当とする。
- 但し、安定配当として一株あたり最低年間配当額は80円とする。
※みなし当期利益：経常利益×(1-実効税率)
- 2023年3月期の配当は、みなし当期利益の基礎となる単体経常利益を24,950百万円(前年度比18.2%)と見込み、年間109円(前年度比18円増配)を予定します。
- 期初予想の年間106円対比、3円の増配となります。

株主還元の実施状況

【単位 百万円 ※かっこ内は一株あたり配当、単位:円】

決算期	中間配当額	期末配当額	年間配当額	自社株買い 株数/金額	当期純利益 (単体)	配当性向 (単体)	総還元率 (単体)	[参考] 総還元率 (連結)	ROE (連結)
2020年3月期実績	(40.00) 3,314	(65.50) 5,427	(105.50) 8,741		6,745	129.6%	129.6%	137.5%	2.4%
2021年3月期実績	(25.00) 2,072	(47.50) 3,895	(72.50) 5,967	877千株 1,975百万円	12,435	48.0%	63.9%	57.3%	5.3%
2022年3月期実績	(40.00) 3,280	(51.00) 4,083	(91.00) 7,363	1,960千株 5,323百万円	15,329	48.0%	82.8%	45.7%	9.8%
2023年3月期予想	(40.00) 3,192	(69.00) 5,506	(109.00) 8,698	360千株 1,000百万円	17,650	49.3%	54.9%	44.3%	7.2%

※2020年3月期の1株あたりの配当金には記念配当30円が含まれています。

01 × 100

MARUICHI × HUNDRED

事業の深化と進化による収益性の向上

- デジタルトランスフォーメーション（DX）の導入
- オープンイノベーションの推進
- 社会課題解決を意識したグローバル展開の加速

新領域への果敢な挑戦

イノベーションを生む組織への変革

丸一鋼管グループビジョン

01 × 100



MARUICHI
2030 VISIONの
全体像をご紹介します。

注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。